

② 重点的な取り組み

ア) ボランティアの養成・育成

イ) 住民主体の通いの場・
通所付添サポート事業の推進

ウ) 生活支援体制整備事業

エ) 在宅医療・介護連携推進事業

オ) 認知症施策推進事業

② 重点的な取り組み

ア) ボランティアの養成・育成

いきいき生活サポート事業



○ボランティア養成講座

日程：10月13日（木）～11月17日（木） 週1回、5回コース

会場：高梁文化会館 レクチャールーム

修了者数：15名

いきいきサポーター登録者数（R3：9名、R4：11名）計20名

○いきいき生活サポーター活動実績

利用者：3名

サポーター：4名

内容：風呂・トイレの掃除など



※在宅介護支援センターや市内居宅介護支援事業所へ事業を周知、利用を呼びかけている。

問い合わせ先： 高梁市社会福祉協議会 （☎0866-22-7243）

高梁市地域包括支援センター （☎0866-21-0300）

② 重点的な取り組み

**イ) 住民主体の通いの場・
通所付添サポート事業の推進**

② 重点的な取り組み



住民主体の通いの場

R5.3.29 有漢地区へ新たな通いの場
(通所型サービスB)
運営開始予定

旧有漢診療所跡地 「**SLOW SPASE みちくさ**」

開所に向けて通所付添ボランティアの養成とともに有漢地区社協でボランティアへの声掛け。

2 月末 ボランティア団体の立上げ (予定)

3 月 通所型サービス B 試行 2 回 (3 月 1 日、1 5 日) 予定

開所 (3 月 2 9 日) 予定

② 重点的な取り組み

住民主体の通いの場



元気なからだづくり隊

令和 3 年度 2 1 グループ (4 2 1 人)

令和 4 年度 2 1 グループ (3 7 8 人)
(▲ 2 + 新グループ 2)

交流会の実施

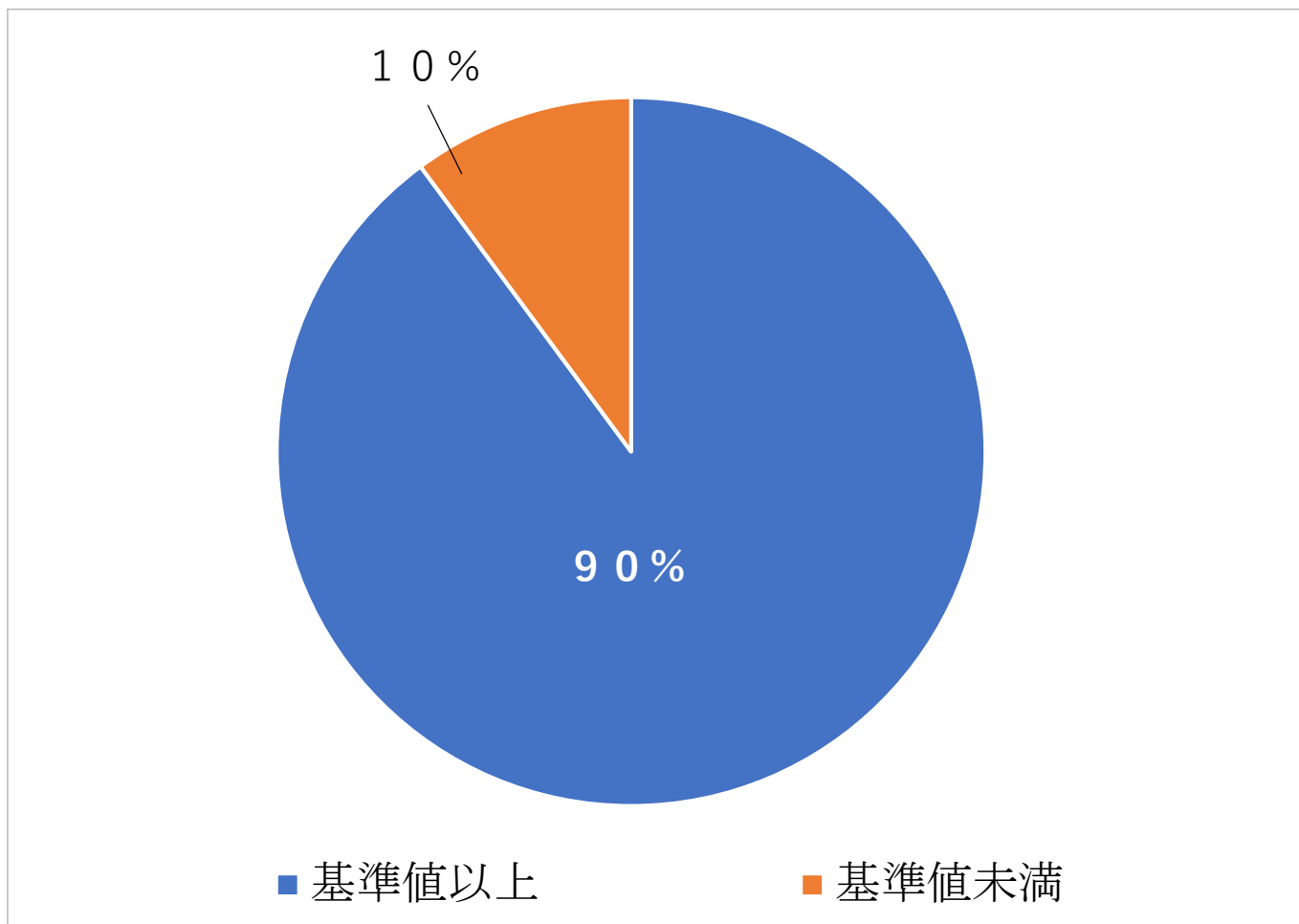
2 月 1 5 日 成羽複合施設 たいこまるプラザ
参加 2 2 名
(2 1 グループ中 8 グループ参加)

活動集の作成

活動紹介を通じて運動や交流の重要性を広めるために
作成中

② 重点的な取り組み

元気なからだづくり隊 体力測定結果（握力）



握力（基準値を男性28kg、女性18kgとした場合）

（n = 79名 令和4年度体力測定実施）

通所付添サポート事業



巨瀬通いの場2020
落合「あいあいサポート隊」
かわかみお出かけ隊
ソルティール川面



松原：松原にこここサポート
R5年3月15日～

有漢：つきそい隊うかん
R5年3月29日～

- 通所付添サポーター数：113人　活動人数67人
令和4年度受講者：46人
第3期通所付添サポーター養成講習受講者：22人

② 重点的な取り組み

ウ) 生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業

1. 第1層協議体での会議（地域包括ケアシステム検討委員会の開催）

第1回（令和4年7月14日）

テーマ「住民活動の取組を活発にするためには？」

第2回（令和4年11月21日）

テーマ「介護予防がなぜ必要かを広く理解してもらうために」

第3回（令和5年2月14日）

テーマ「ボランティア活動普及啓発案内とその活用方法について」

2. 生活支援体制整備事業連絡会の開催

（7回開催（予定含む））

第1層・第2層の生活支援コーディネーター間の連絡調整・共有
地域活動目標における進捗状況の確認

各地区の福祉課題、目標、成果やボランティアの養成等

3. 地区支援ミーティングの開催

各地区担当者（第2層生活支援コーディネーター、健康づくり課、地域
包括支援センター）の情報共有

各地区における活動内容、社会資源の実態把握、地域支援の方向性等の共有、各地区の地域特性の理解を目的に開催し、連携の必要性を再確認した。

※次年度継続開催予定

② 重点的な取り組み

65歳以上の社会参加促進啓発チラシ

こんにちは、高梁市地域包括支援センターです。

**あなたのできるを
誰かのありがとうに**

ボランティア、してみませんか？

高梁市は、若い人が減り、
ボランティアの担い手不足が深刻です。

ボランティア活動は、
地域防災に貢献します。
また、交流や活動を通じて、
お話し好きな方、身体が
住み慣れた地域の方々、
ボランティアの仲間と
つながることができます。

○市内のボランティア活動
・いきいき生活サポーターなど
・ミニデイサービスのお手伝い

○地域での交流の場づくり
・ふれあいサロン
・元気なからだづくり隊 など

ご興味のある方は裏面へ⇒

未定稿

例えばこんな「できる」探してます。
(高齢者の在宅生活支援のために)

ゴミをステーションまで運ぶ

品などのおつかいをする

った方のお話し相手をする

いるミニデイサービス
出す運転スタッフをする
スタッフをする

交流の場を立ち上げたい

聞いてみたい方
ところのある方 など、
問合せ先まで遠慮なくご連絡ください。

【問合せ先】
○高梁市地域包括支援センター 電話:0866-21-0300
メール:hokatsu@city.takahashi.lg.jp
○高梁市社会福祉協議会 電話:0866-22-7243
メール:yatosa@mx9.tiki.ne.jp

表

裏

② 重点的な取り組み

エ) 在宅医療・介護連携推進事業

多職種連携研修会

テーマ：多職種連携研修会の中での薬剤師の役割

講師：岡山県薬剤師会

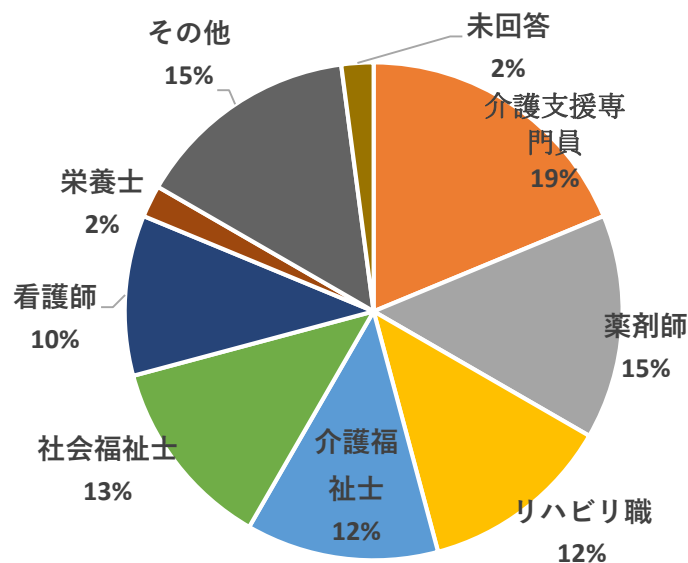
クオール株式会社 甲 慎二 氏

- ① 保険薬局の薬剤師の業務について
- ② 残薬の対応について
- ③ 多剤服用について（ポリファーマシー）
- ④ 副作用について
- ⑤ 薬との飲み合わせについて
- ⑥ 在宅医療について
- ⑦ 薬局の活用について

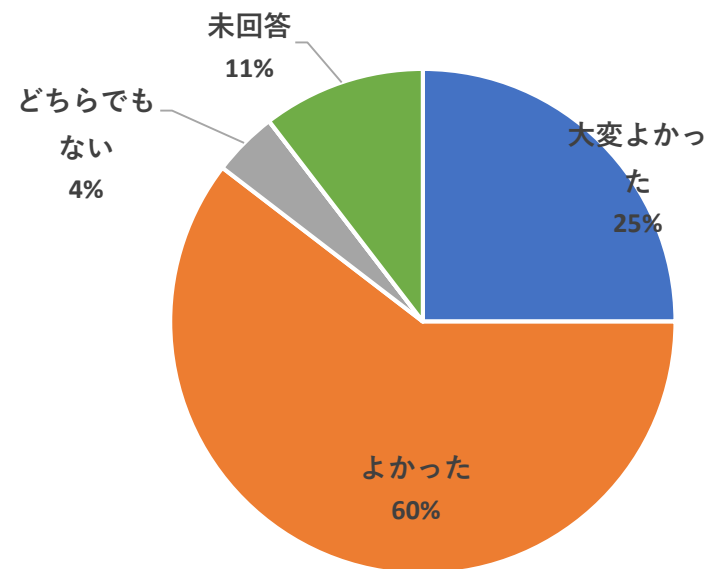


② 重点的な取り組み

【参加者の職種】



【研修内容】



- ・ 薬局の業務、薬剤師の役割、服薬の知識、残薬の対応等の知識と理解が深まった。
- ・ 保険薬局の薬剤師の業務が理解できた。相談も対応してもらえるのは助かる。
- ・ この研修で薬に対する意識が高まり、連携がスムーズになると感じた。
- ・ 電話によるフォローアップ、残薬調整等大変な業務をこなされていることがわかった。
- ・ 残薬のチェック、多剤服用、副作用について、薬剤師へ対策など相談しやすいと感じた。
- ・ 利用者さんから薬の話題や困ることはよく耳にするので参考になった。
- ・ リフィル処方箋やブラウンバックの情報は、今後活用したい。

人生会議(ACP)の普及・啓発

ACP 人生会議

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

「自分らしく生きる」ための話し合いガイド

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

○誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。
○もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を

「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。
○「人生会議」にいつからということはありません。元気なうちから話し合ってみましょう。まずは、次の5つのステップに沿って、自分の考えを整理し、家族や友人などと話し合ってみましょう。
※知りたくない、考えたくない場合は、無理せず自分のペースで始めましょう。

ステップ 1 あなたが大切にしたいことを考えてみましょう

あなたの生活で大切にしたいことや、あなたの人生の目標・希望や思いについて考えてみましょう。今のあなたの考え方を示しておくことは、将来ご家族などがあなたの気持ちを考えて判断するのに役立つでしょう。

家族と一緒に過ごしたい

好きなことを続けたい

社会的な役割を持ち続けたい

身の周りのことは自分でしたい

自分の気持ちや考えを伝えたい

ステップ 2 もしものとき、あなたの思いを伝えてくれる人を選びましょう

もしも、病状などにより自分の考えや気持ちが伝えられなくなったときにステップ1で決めた「大切にしたいこと」を尊重してくれる人を選びましょう。

家族や親せき

友人

医療・介護従事者

ステップ 3 かかりつけ医に質問してみましょう

具体的には

- これから予想される経過
- 受けるであろう治療やケア
- ご自分の病名や病状 など

知りたいか知りたいくないかもきめ、一度考えてみましょう

かかりつけ医を持ちましょう
かかりつけ医は、健康に関する何を何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

ステップ 4 自分らしく生きるための医療やケアについて話し合いましょう

あなたが希望する医療やケアについて、あなたの希望や思いを理解してもらうためご家族や友人、身近な専門家と話し合ってみましょう。
このような話し合いを続けることで、病状などにより自分の考えや気持ちが伝えられなくなったときに、ご家族や友人が代わりに医療やケアについて難しい判断をする重要な助けとなります。

○どんな治療・ケアを受けたいですか？

- ・病状と闘って少しでも長く生きたい
- ・延命につながるだけの処置は避けたい
- ・痛みや苦しみ無く、自分らしさを保つことに焦点をあてた治療を受けたい など

○どんなところで療養したいですか？

- ・できるだけ住み慣れた自宅で生活したい
- ・病院や施設で療養したい など

「もしも」のときの医療

口から栄養が取れなくなったとき

○胃ろう・経鼻胃管
水分や栄養を管を通して胃の中へ送ります。管の挿入は医療者が行いますが、栄養液等の注入は家族が行うこともできます。

○中心静脈栄養
心臓に近い太い静脈に、点滴のチューブを挿して栄養を送ります。

自分で呼吸が難しくなったとき

○人工呼吸器
呼吸が強いときに、気管に管を入れ呼吸を助ける機械につなぎ肺に酸素を送ります。

心臓や肺が停止したとき

○心肺蘇生処置
心臓や呼吸がとまったときに、心臓マッサージなどをを行い一時的に機能を回復させます。

ステップ 5 話し合った結果は書き留めておきましょう

ステップ1～ステップ4で話し合った内容について「わたしらしく生きる」ための話し合い記入シートに記載しておきましょう。
今のあなたの希望や思いは時間とともに変化したり、健康状態により変わってくる可能性があります。その都度、見直しを受けてもらって構いません。どう気持ちが変わったかも話し合うことが大切です。

「人生会議」についての問合せ先

○高梁市介護医療連携課 TEL0866-21-0304

○高梁市地域包括支援センター
・成羽ステーション TEL0866-21-0300
・川上ステーション TEL0866-42-3213
・備中ステーション TEL0866-48-4184
TEL0866-45-9911

看護職の地域医療スキルアップ研修

* 高梁かngoねっと委託事業

< 主な研修会 >

* 看護管理研修会（リーダー研修会）
5月31日、6月17日、1月31日

* 口腔ケア研修会 7月27日

* 皮膚・排泄・胃瘻ケア研修会
9月22日

* 認知症研修会 10月18日

* 感染対策研修会 12月22日



医療・介護市民公開講座

日時 令和5年2月19日（日）

場所 高梁総合文化会館 大ホール

- ① 寸劇上映「人生会議～自分らしく生きるために」
- ② 介護施設について
- ③ 薬剤師の役割と服薬について

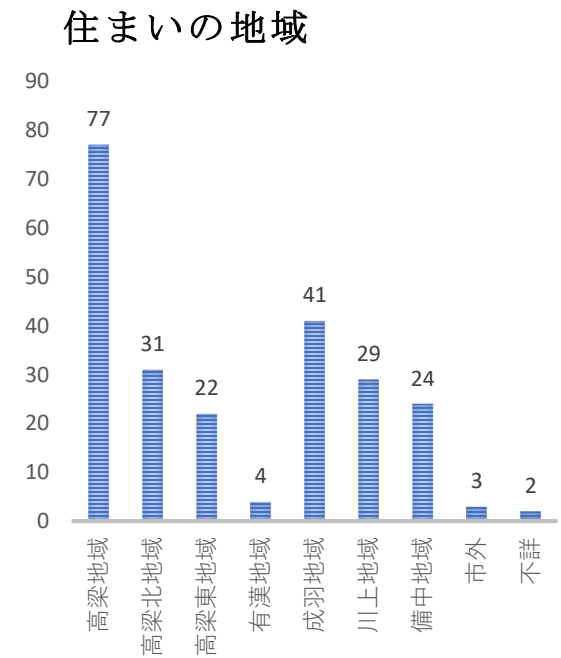
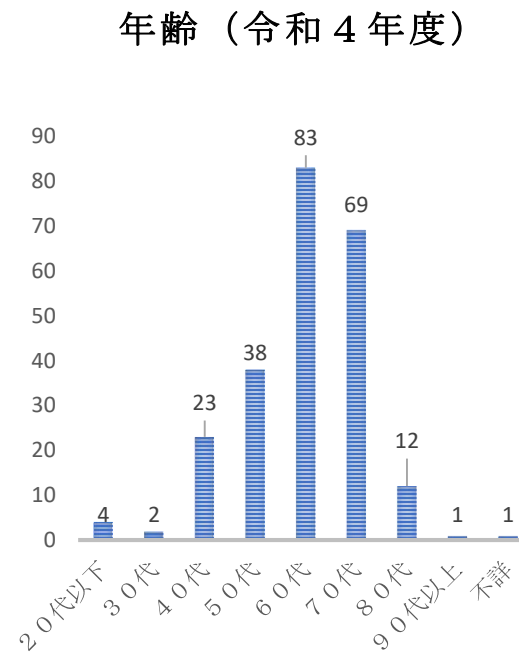


高梁市医療・介護市民公開講座

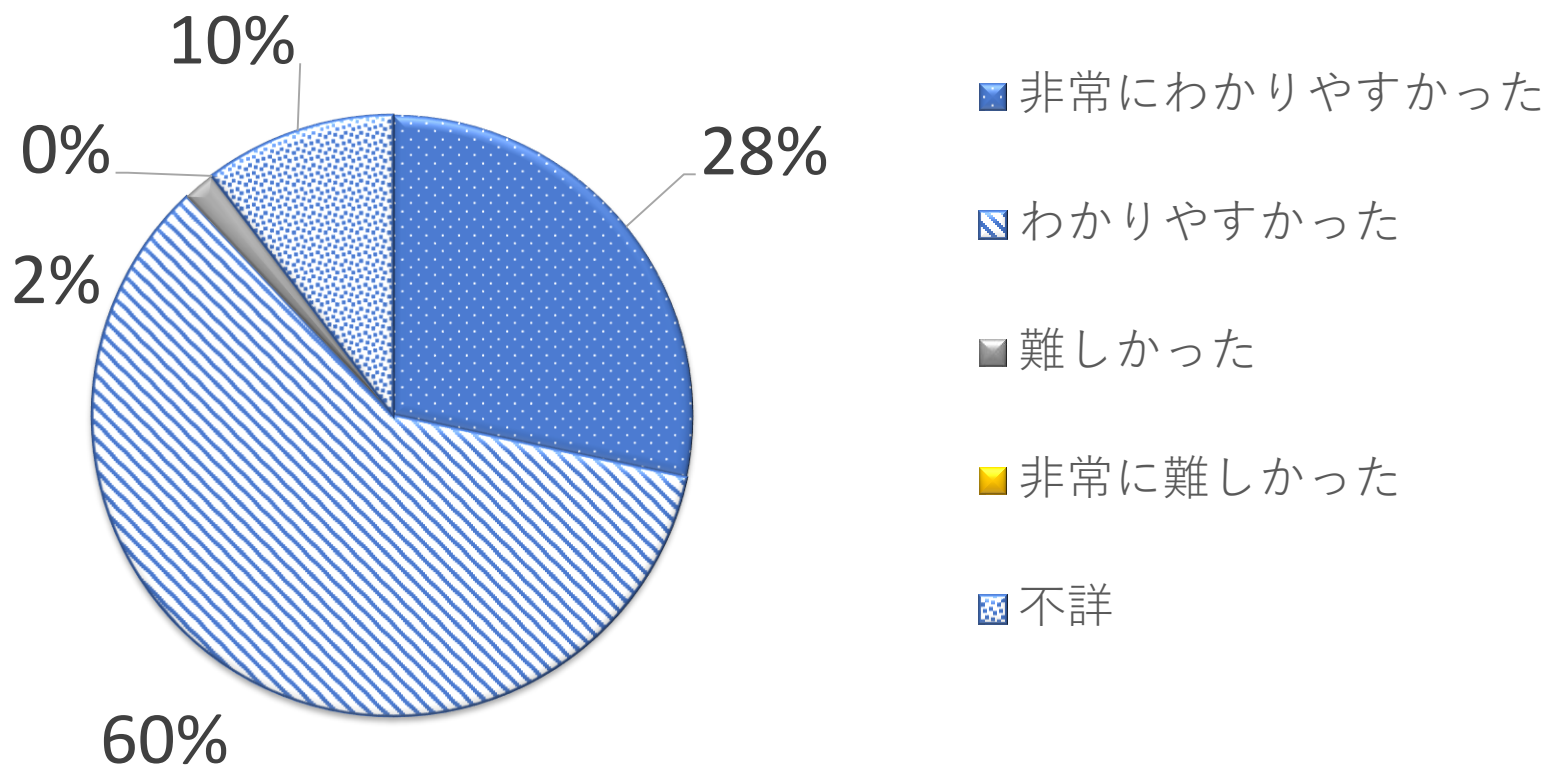
R5.2.19

参加者 3 4 9 人

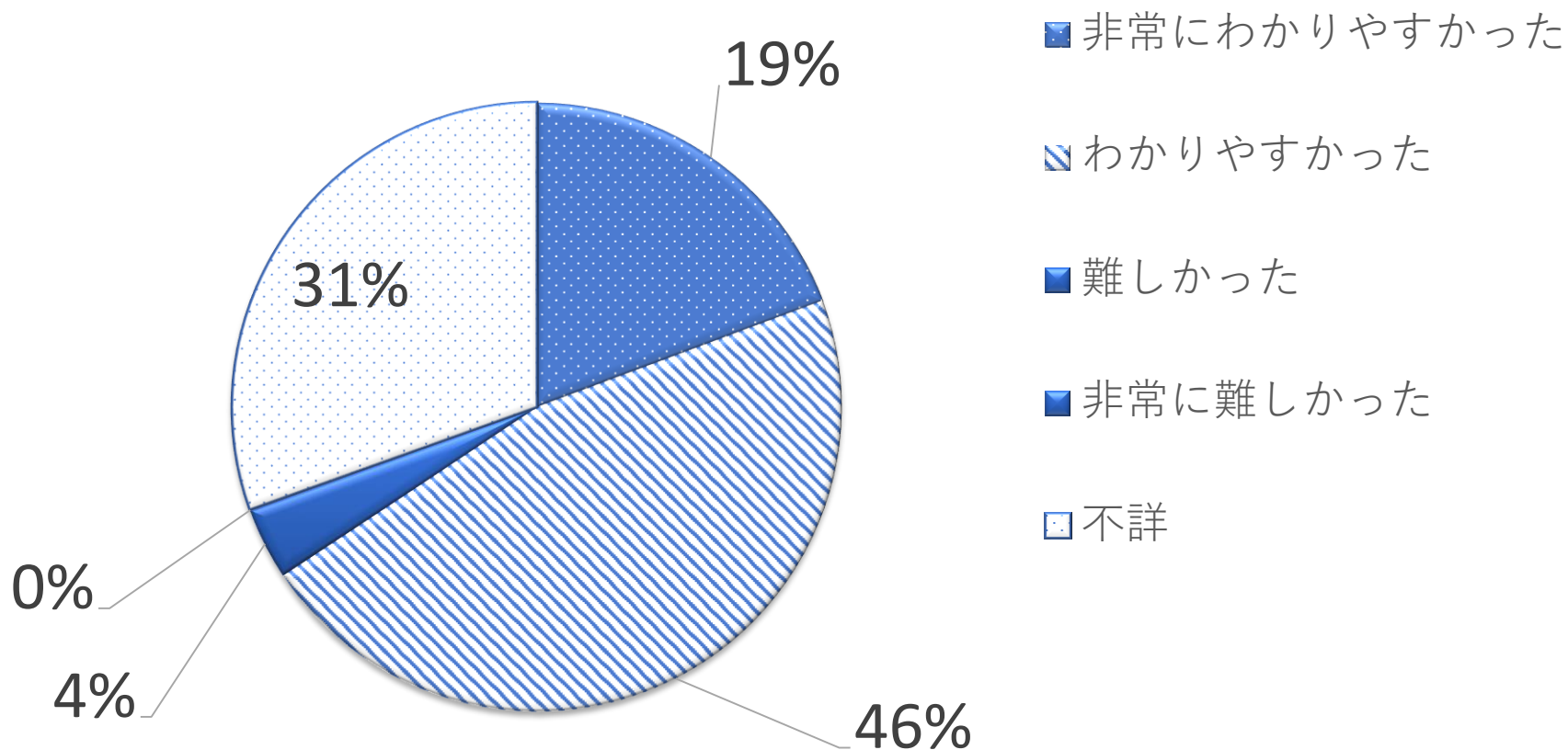
市民公開講座 参加者属性



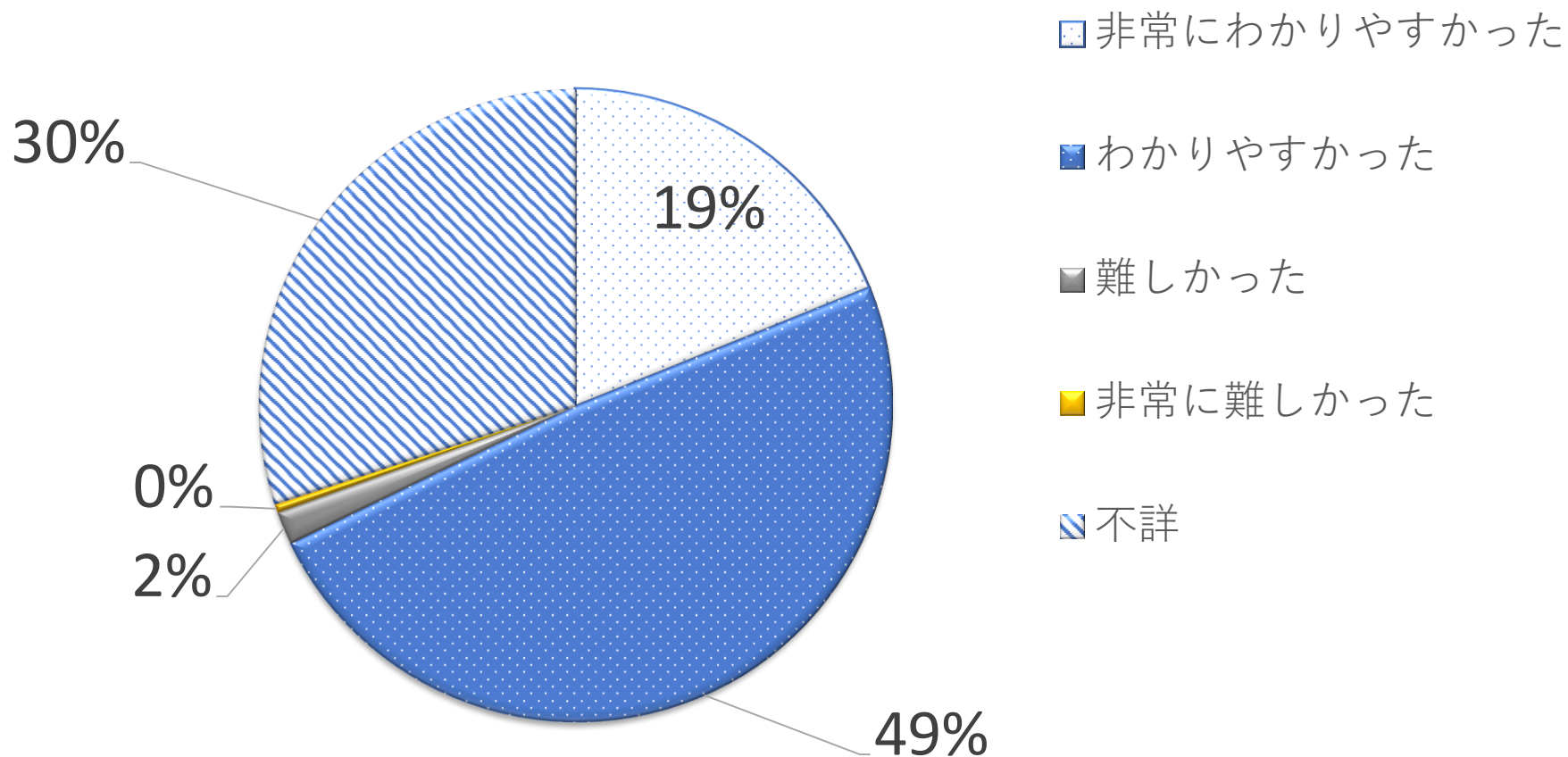
人生会議（ACP）についてわかりやすかったか



介護施設についてわかりやすかったか？



薬剤師の役割と服薬についてわかりやすかったか



ご意見（一部抜粋）

- のなりすにッ
たんよやンロ
っどとりーテ
あつるかり（
がいあ分ク。
明をでもスタ。
説のまで。し
つもろとすま。
一たこはでいか。
つしと明い思う
一入う説しとよ
か記いのほいし
の。とでて良で
むたか画けに変
込っの動続ら大
きかる。もさが
書すすい後と業
にや用す今る作
うり活や。あ）
よかでりすがど
のわ面かで幕な
どで場わい字プ
- 今回ぎ
今のご
家族。りう
家配。回と
、心のが
とが身り
こ先、あ
のりき。
だなだす。
らにたま
か安いり
の不てな
身がげに
自と上げ
にこりか
との取っ
ご）をき
す供マう
増子一合た。
を・テうし
齡親の話ま
年（ことい

- 市内の施設についてよくわかりました。高齢化が進み入所者・待機者がとても多く、声を聞きます。方も必要ないと思っ
- 説明にあった施設の書いてある地図を資料としてほしかったです。
- お薬手帳をアプリ等にしてスマホ管理したい。残薬必要な薬を減らして医療費減へ取り組んでほしい。
- 薬の量が多く全部服薬していてもよいのか心配になることがあります

- わいが例
くじが事
よまなど
てやこな
い、い方
つり、く
にたにわ
議いみ関
会で進、
生んに方
人進れた
やが通れ
れ症いさ
の流知思
の認で苦
用。まに
利すこ際
のまこ実
スいと。
ビ思だす
ーに方ま
サうない
険よ固思
保た頑と
護ったあ
介かよる
が

- と思い
なは思い
い、い
ればあ
あがき
が話機
会接る
機直け
る、聞
見なを
もは話
にでも
人けに
ないだ
なる方
れ見方
らを遠
来を資
に資料
会場。し
の、た
こ思
ます。

- 家のこ
り、た
周、だ
と、思
いう、
と、こ
た、た
た、た
だ、か
満足、
希望、
の、め
(い、
じ、聞
ま、及
や、れ
人、そ
本、人
族、等
と

② 重点的な取り組み

才) 認知症施策推進事業

② 重点的な取り組み

認知症理解推進キャンペーン2022



のぼり作成

市役所・各ステーションに
設置しました



② 重点的な取り組み

認知症理解推進キャンペーン2022

パネル展示・相談会

9月15日(木)～22日(木) 場所:市役所1階市民ホール



来場者：74名

もの忘れ相談プログラム実施：6名

認知症簡易テスト：4名

スタッフ：20名

(認知症施策検討委員会委員・
キャラバンメイト)



② 重点的な取り組み

認知症理解推進キャンペーン2022

オレンジガーデニングプロジェクト



② 重点的な取り組み

認知症サポーター養成講座



一般市民対象



市役所職員



高梁高校



配食ボランティア



認知症カフェすずらん

講座開催数:25回
受講者数:435人
(初回340人)

② 重点的な取り組み

認知症サポーターステップアップ講座

ステップアップ講座希望者



1回目：6月16日
2回目：6月30日

かわかみ茶坊



1回目：11月19日
2回目：2月18日

② 重点的な取り組み

チームオレンジ「チーム布瀬のわ」結成



11月1日結成

**「わ」に
和・輪・話の意味を込めて**

○活動内容

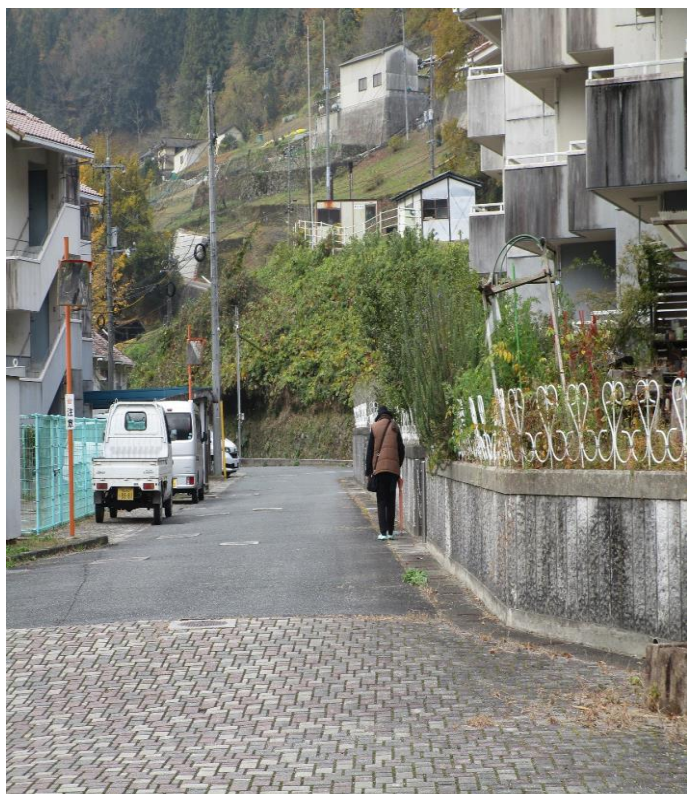
- ・ロコモ予防体操への誘い出し
- ・声かけ

② 重点的な取り組み

認知症声かけ体験in備中町布瀬地区

11月20日（日）

場所：備中町布瀬地区



② 重点的な取り組み

行政放送「認知症カフェ特集」

8月放送



高梁市公式チャンネル

YouTube
(認知症カフェ特集)

